

5万人都市の再生に向けて。西村市政がスタート



市長 西村和平

平成23年5月22日の加西市長選挙において初当選し、6月17日に就任した西村和平市長(55歳)が市民の皆様にご挨拶申し上げます。

5万人都市・加西の再生に向けて、まず、私の心を捨てて公に徹することをお誓い申し上げます。

今回の選挙では、私の示した公約に、市民の皆様の多くのご支援をいただき当選することができました。大変ありがたく思っています。同時に、市長としての職責の重さに身の引き締まる思いで一杯です。私自身が職員出身ということで、市政の舵取りを注目されると思いますが、職員とは「信頼」という絆をもとに、公約の実現に向けて厳しい姿勢で臨みたいと考えています。

公約に掲げた加西市の人口を増やすために、住みやすい魅力あるまちづくりを目指し、特に次の3点を大きな施策として実施したいと思います。

- ① 子育て支援施策として、中学3年生までの医療費の無料化、第2子以降の保育料の無料化、全中学校給食の実施。
- ② 生活基盤整備施策として、全学校の耐震化、道路の補修や整備、通学路の安全確保、老朽ため池の修繕。
- ③ 雇用拡大・若者の定住促進施策として、新たな産業団地の建設、住宅建築制限の緩和、水道料金の20%値下げ。

これらの施策を実施するにあたり、平成24年度を起点とする10年間の行財政改革プランを23年度中に策定します。議会やタウンミーティング、代表区長会においてご意見を拝聴するとともに、策定の進捗状況などもご説明したいと思います。6月議会には、急を要する補正予算や議案を提案します。また、公約に掲げた市長の給与と退職金の3割カットを提案します。政策的・投資的な補正予算などの議案については、早急に市役所内の意思決定を図り9月議会に提案する予定です。

私は、不器用な人間で直球しか投げることができません。しかし、公約を実現するために、様々な厳しい現実問題を直視し、丁寧に市民の皆様のご意見をお聞きしたいと思います。重要な施策の決定、推進にあたっては、対話と協調をモットーにして、一人でも多くの方のご意見を尊重します。決して、行政の独断専行はいたしません。

約30年前に始めた登山の醍醐味は、登頂したときの達成感です。快晴ばかりではありません。雨の日もあれば、雪の日もあります。ぬかるんだ地を時間をかけて一步一步着実に進んでいきます。登山をするには、緻密な計画と準備、そして勇気とチームワークが必要です。市政も同じだと思っています。施策や事業を実施するには、市民との合意形成、条例の制定、予算の確保などのほか、市長の責任ある決断と、行政と議会の確固とした信頼関係が必要です。私が加西市の隊長となり、一つ一つ険しい山を登っていきます。

市役所という大きな組織を有効に働かせ、職員一同、汗を流し知恵を出して、市民の皆様と共に加西の底力を最大に引き出します。そして、市民のくらしを希望と活力に満ちたものに変え、子どもたちに明るい未来を創ってきたいと思います。



6月17日の初登庁。この後、集った200人の職員を前に「今日直ちに求めるのは、市民満足度が2割アップするよう仕事に取り組むこと」と市長訓示を行いました。

新しい議長・副議長が決まりました

加西市議会臨時会が平成23年6月2日に開催され、議長・副議長が決定。任期は、議会の申し合わせにより2年間です。



議長
森田博美 (56歳)

4期目で、平成20年から1年間議長を務めたほか、総務委員長、厚生委員長、監査委員などを歴任。



副議長
土本昌幸 (59歳)

3期目で、建設経済委員長、予算特別委員長、決算特別委員長などを歴任。

永年の善行に感謝して。善意の表彰

6月1日の善意の日にちなみ、奉仕活動を通じてこころ豊かな地域づくりに貢献された方々を表彰する「善意の表彰」の贈呈式が6月5日、アステシアかさい3階地域交流センターで行われました。

■かしの木賞 (個人の部)

敬称略。五十音順

受賞者	年齢・住所	活動内容
井上秀明	(55歳・朝妻町)	防犯活動
岩本 治	(76歳・豊倉町)	福祉施設訪問ボランティア活動
岡 次郎	(70歳・山下町)	福祉施設芸能ボランティア活動
岡本昌子	(70歳・都染町)	地域福祉ボランティア活動
小谷滋子	(82歳・中野町)	給食調理ボランティア活動
後藤政博	(56歳・殿原町)	青少年健全育成活動
高橋妙子	(51歳・中富町)	朗読ボランティア活動
竹内敏弓	(61歳・下道山町)	朗読ボランティア活動
藤原サヨ子	(67歳・大内町)	福祉施設訪問ボランティア活動
横田克巳	(57歳・西横田町)	青少年健全育成活動



かしの木賞を受賞された皆さん

■サルビア賞 (団体の部)

受賞団体	活動内容
富田・賀茂・下里・九会・富合・日吉・宇仁・西在田・泉小学校の各ワッショイスクール	防犯及び青少年健全育成活動
兵庫県退職公務員連盟加西支部	地域福祉ボランティア活動



サルビア賞を受賞された皆さん

【問合せ先】 秘書課 ☎428701 FAX ☎0291 hisho@city.kasai.lg.jp

宇仁地区に新規居住者の住宅区域が指定されました

宇仁地区(鍛冶屋町、油谷町、田谷町、国正町、小印南町、青野町)では、宇仁郷まちづくり協議会が中心となり、同地区の人口減少の歯止めと地域の活性化を目的に、様々な取り組みが行われています。

加西市は、同協議会が策定した「宇仁地区土地利用計画」を認定し、兵庫県が、特別指定区域制度を活用した「新規居住者の住宅区域」に指定しました。

これにより、同地区は市街化を抑制する市街化調整区域ですが、指定された区域内では、宇仁地区以外の方でも住宅建設が可能となりました。

■資料閲覧/都市計画課(市役所5階※土日・祝日除く)で閲覧いただくか、市ホームページでご確認ください。



宇仁地区住民ボランティアらによる学童保育の様子。同地区では他にも、朝市やコスモスマつり等まち興しの取り組みが活発に行われています。

【問合せ先】 都市計画課 ☎428753 FAX ☎1998 toshi@city.kasai.lg.jp

■平成23年春の叙勲



瑞宝小綬章
(元加古川東高校長)
竹内暉雄さん (73歳)
下道山町

神戸大学を卒業後、泉町立多加野中学校(現泉中学校)勤務を経て、母校の北条高校で20年近く物理の教師を務められました。以後、東播磨教育事務所長や加古川東高校の校長、加西市教育長などを歴任。教育環境の向上に努められました。「地元の多くの子ども達に接することができ、力をつけ、伸ばすことに関わることがうれしかったです」と感謝の気持ちを話されました。